

泌尿器科

島根県の基幹病院として成人泌尿器科全般にわたり医療を提供しています。重症尿路感染症、尿路結石、尿路外傷などの泌尿器救急医療に携わります。常勤医3名、1名は日本泌尿器科学会指導医・専門医です。

当科での対象疾患別の特徴

- 1、尿路結石に関しては、自然排石が不可能な症例に対して、体外衝撃波碎石術（年間50-60件）、腎尿管結石に対する経尿道的レーザー碎石術（年間15-25件）を主に施行していますが、腹腔鏡下切石術(保険収載がない術式であるため、当院臨床研究・治験審査委員会の承認を得ています)も症例によっては実施しています。
- 2、膀胱癌は経尿道的手術（TUR-BT）を年間70-80件施行していますが、膀胱内注入療法なども併用し、膀胱温存治療を行っています。筋層浸潤癌に対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術+尿路変向術を実施しています。年間2-5件です。
- 3、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡下腎尿管全摘膀胱部分切除術を年間7-10件実施しています。進行症例については化学療法も実施しています。
- 4、腎癌に対する根治的腎摘除術は年間で開腹2-5件、鏡視下10-20件。腎部分切除は年間で開腹2-5件、鏡視下3-6件施行しています。いずれも鏡視下手術が増加傾向です。
- 5、前立腺癌は限局癌であれば根治的手術（年間10-20件、腹腔鏡下前立腺摘除術）を勧めています。当科は悪性腫瘍治療に関してはインフォームドコンセントを重視し、患者さんの年齢、合併症に留意し、最高のQOLを得るため、できるだけ情報を提供し、患者さんに治療法を選択して頂いています。
- 6、副腎疾患に関しては、当院内内分泌代謝科と連携し、診療しています。腹腔鏡下副腎摘除術は年間3-5件 実施しています。
- 7、その他：複雑性尿路感染症による敗血症の症例では救命科で入院、泌尿器科医が尿管ステント留置あるいは腎瘻造設術などの緊急手術を担当します。

症例は多岐に渡り、基礎的な知識、泌尿器科的検査、処置が十分習得できます。すべての手術に助手として参加できるので、上達が早いと思います。

是非、泌尿器科に興味をもって下さい。そして島根県中に研修に来て下さい。

